

東京キリスト教学園

ボランティアセンター 活動報告No.4



2012年4月23日(月)
発行：学園ボランティアセンター

■いつもお祈りを感謝致します。

学園ボランティアセンターは春休みに2チームを被災地に派遣しました。第一陣は3/12~16、石巻市の八幡において建築作業、第二陣は3/20~24、CRASH Japanの那須ベース(栃木県)にて仮設住宅訪問などの活動を行いました。

■お茶っ子ハウス

第一陣は石巻市の八幡の「お茶っ子ハウス'オアシス'」という場所で、新しいホールの建設のために、建築現場に住み込みで入り大工仕事をしました。「お茶っ子ハウス'オアシス'」とは八幡において毎週土日を使って開催しているオープンカフェです。4月にはゴスペル体験レッスンを同時に開催しました。チームは、このお茶っ子ハウスのイベントで使う会場ホールの建設をしました。



■狐田、浪江町仮設住宅訪問

第二陣は郡山市の三春町にある狐田仮設住宅の集会所で、教会の方とともに「モバイルカフェ」を開催し、仮設住宅に住む方々と交わりを持ちました。30名以上の方々が集まり、最後は皆で記念撮影をして、チームの見送りまでしていただきました。肩もみやボディマッサーなどをし、特にチームの留学生は子ども達と良い交わりを持つことができました。また、福島市にある浪江町の仮設住宅への個別訪問も行いました。県内で一番大きな仮設住宅です。1件1件にドイツの方の手編みの靴下をお届けしました。ドイツから、被災された方々のために、一針一針励ましと慰めをもって編んでくださった大切な靴下です。皆さん不慣れな土地での仮設住宅での生活で、家にこもってしまう方が多いようですが話が出来ることを喜んで下さいました。

■CRASH Japanオペレーションセーフ

CRASH Japanの働きを通して、オペレーションセーフという活動をしています。これは被災した子どもたちの心のケアを行うプログラムです。子どもたちの心のケアと同時に、楽しみながら聖書のメッセージに触れることができる内容に作られているプログラムで、毎月第2、第4土曜日に開催しており、学園からも学生を派遣しています。

■今後の働きについて

夏にも学園からチームを派遣する予定をたてています。学園のメンバーの賜物を生かし、様々な必要に応えていけるように、工夫も考えています。ボランティアに興味のある方、参加したい方、質問などがありましたら、ボランティアセンターのメンバー(山本、竹内、平塚、山口、菊池)まで声をおかけください。

■メーリングリストについて

学園ボランティアセンターと派遣チームの働きを配信しているメーリングリストにぜひご登録ください。登録を希望される方は u11304@st.tci.ac.jp (山口礼子)までご連絡ください。

■募金報告(4月23日現在)

現時点での募金残高は¥1,195,033となっており、当面での活動資金としては十分と思われるので募金の受付を一時中断させていただいております。皆さまのご協力に感謝致します。

■お祈りください

- ・被災された方々が主によって慰められ、癒され、新しい希望を持つことができるように。
- ・東北での様々な必要に対し、学園生の賜物が用いられるように。
- ・今後の学園ボランティア派遣、5/19人形劇チーム派遣、オペレーションセーフへの派遣、夏休みの派遣のために。